

2

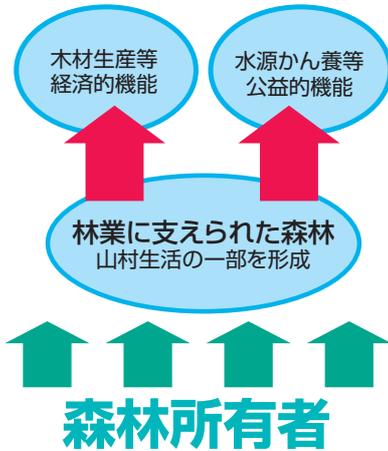
「琵琶湖森林づくり条例」のあらまし

条例制定の背景

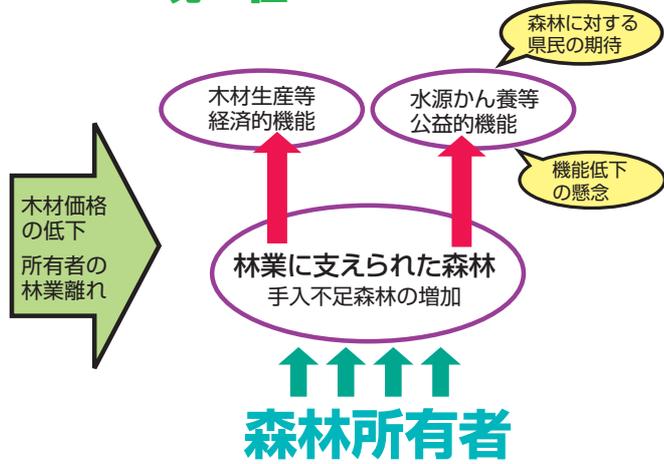
なぜ今、森林について考えるのでしょうか。

私たちの暮らしを支える森林の多面的な機能は、かつて森林と人が深くかわり、また、林業が活発に行われることにより森林の手入れがされ、その結果として発揮されてきたのです。しかし、現在、手入れが行き届かずに荒れた森林が増えています。

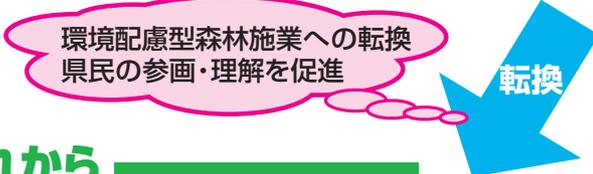
これまで



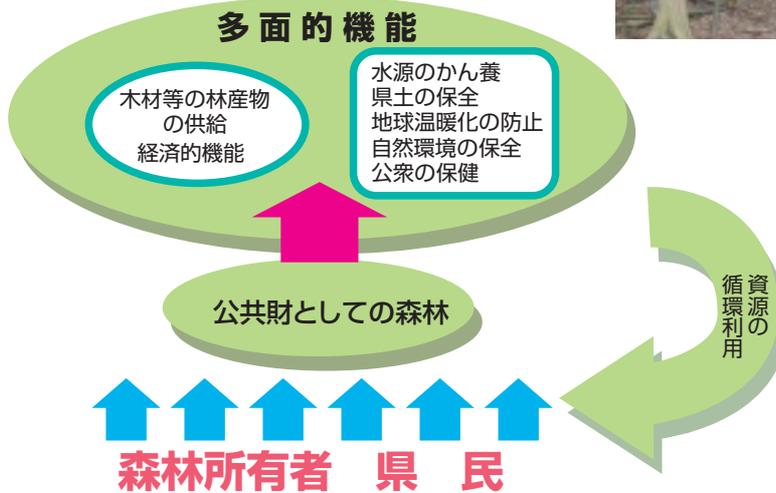
現在



木材等の生産機能を軸にした林業政策
森林所有者による森林づくり



これから



森林の多面的機能の持続的発揮をめざす森林づくり
県民全体で支える森林づくり

■県民が協働して目指すべき森林をつくるため、その仕組みとして条例を制定しました。

森林のもつ多面的機能の恩恵を広く県民は受けています。そして、特に、滋賀県は生命の源となる琵琶湖を預かっていることから、その水源となる、琵琶湖を取り囲む森林を健全な状態で次の世代に引き継いでいく必要があるのです。